



## 改題の意義について

— ごあいさつに代えて —

チッソ旭肥料株式会社

取締役社長 児玉 義 忠

明けましておめでとうございます。新年にあたり読者の皆様にごあいさつ申し上げます。

皆様既にご承知のことでございますが、チッソ株式会社と旭化成工業株式会社とは、両社の肥料部門を統合し、両社の伝統に立脚しつつ、近代的総合力をあげて肥料業界の、ひいては日本農業界の発展に寄与するために、新しく「チッソ旭肥料株式会社」を設立致しました。

つきましては、従来、チッソ株式会社において硫 磷 安 研究会より、高度化成肥料の発展の為の資料として「硫 磷 安 時報」を、また旭化成工業株式会社では「磷 硝 安 時報」を発行し、新肥料の解説、施肥または肥効の実績等を紹介してまいりましたが、今回の新会社の設立を機に、発行所をチッソ旭肥料株式会社とし、誌名も、「農業と科学」と改題し、新会社設立の趣旨に沿ったものと致したいと思ひます。

今後とも、広く農業に従事されている方はもちろん、農業に関心を持っておいでになる皆様のご愛読を切にお願い致します。

特に、誌名を「農業と科学」と致しましたのは、われわれ肥料の開発研究に従事するものと致しましては、新時代にふさわしい、新しい農業を考えるにあたりまして、単に肥料のみではなく、肥料を通じて、新肥料はもちろんありますが、その施肥の合理化の為の肥料の賦形とか、施肥の機械化、新しい土壌改良法、新しい農薬、更に肥料や作物の貯蔵法等を研究の対象とし、システム化された農業の確立の為に、本誌を寄与せしめたいとの目的で、些少なりとも、この線に沿った内容のものを企画編集致したいとの念願からでございます。

どうか、本誌に対しましてご自由に質問なり、ご意見を寄せて戴き、農業の発展に日夜専念される各位の、良き機関誌として生長するよう、ご支援を戴きますようお願い致します。

1970年の新春を迎えるとともに、「農業と科学」第1号を発行するにあたりまして、意とするところを皆様にお伝えし、ごあいさつと致します。